
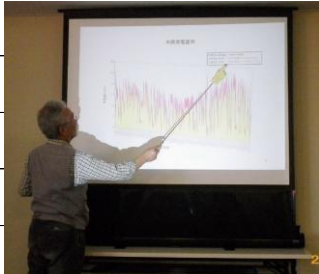
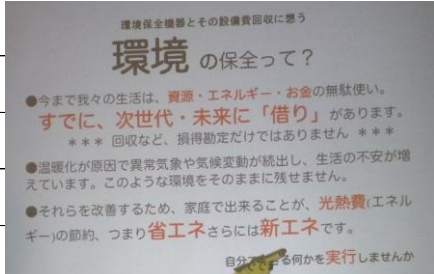


「省エネ市民会議」					
会議年月日	23年3月11日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	高橋、山田、平手、突田、日比野、石井、馬渡、春田(記)、筒井、伊藤、雨海、山崎、田中新田、青木、新美 :16名 (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				
議 題					
3月度の「省エネ市民会議」を開催した。					
今回はNPO「太陽光発電所ネットワーク(略称PV-Net)千葉」との共催で「環境ミニ講座」とした。					
1、「太陽光発電とオール電化で光熱費が1/3に！ 本当か？」(講師:新美)					
a: 講演のキッカケ					
地域紙で「太陽光発電とオール電化で光熱費が1/5に！」と掲載されていた。					
この記事に疑問を感じて実績データで検証してみようと思った。					
b: 実績データ (太陽光発電売電分を含む電気、ガス、灯油、水道の使用料金)					
・2006年=317,070円(100%)					
・2007年=361,584円					
・2008年=219,195円(設備導入)					
・2009年=158,919円					
・2010年=105,940円(33%)					
* 1/3は本当であった。(設備費用の回収は14年)					
* PV-Net東京の田中氏から、東京都の場合の費用回収説明あり					
c: 思い					
科学技術が全てとは思わないが生活の質を維持向上を計りながらCO2削減が出来ることが分かった。					
「エネルギー自給機器(PV)」を導入すると別の世界が見える。					
					
特記事項: 質疑応答中に巨大地震に遭遇し会議終了した。					
<次回以降の予定>					
・4月度(23-4-8):「美田エコノート」(160世帯分の環境家計簿)から見えること(春田)					
・5月度(23-5-13):「住宅の省エネ」(青木)					
以上					